

Python の「きも」

前田利之（まえだ としゆき）
maechan@hannan-u.ac.jp

阪南大学 経営情報学部

(2024.10.11)

はじめに

- この授業ではプログラミング言語として
 を全面的に使用します
- とはいえ授業時間の制約から、細かい文法の説明は厳しいので、頑張って自習して、来週 (10/06) までに少なくとも読める程度になっておいてください
- 例えばの参考 URL:
[Python 入門【初心者向けに使い方を解説】](#)
- とはいえ、それだけでは申し訳ないので、前田的**重要部分**=「**きも**」を少しだけ解説します

はじめに

- この授業ではプログラミング言語として **python** を全面的に使用します
- とはいえ授業時間の制約から、細かい文法の説明は厳しいので、頑張って自習して、来週 (10/06) までに少なくとも読める程度になっておいてください
- 例えばの参考 URL:
[Python 入門【初心者向けに使い方を解説】](#)
- とはいえ、それだけでは申し訳ないので、前田の重要部分＝「きも」を少しだけ解説します

Python の「きも」

- なので覚えることが少ない
-
- 標準 として多くの機能があらかじめ用意されている
- AI 関連を含め外部 が豊富に存在している

Python の「きも」

- シンプルな構文 なので覚えることが少ない
-
- 標準 として多くの機能があらかじめ用意されている
- AI 関連を含め外部 が豊富に存在している

Python の「きも」

- シンプルな構文 なので覚えることが少ない
- 記述性が高い
- 標準 として多くの機能があらかじめ用意されている
- AI 関連を含め外部 が豊富に存在している

Python の「きも」

- シンプルな構文なので覚えることが少ない
- 記述性が高い
- 標準 ライブラリとして多くの機能があらかじめ用意されている
- AI 関連を含め外部 が豊富に存在している

Python の「きも」

- シンプルな構文なので覚えることが少ない
- 記述性が高い
- 標準 ライブラリとして多くの機能があらかじめ用意されている
- AI 関連を含め外部 ライブラリが豊富に存在している

シンプルな構文

■ Python の哲学

■ 複雑であるよりも な方がよい

■ 何かをする方法は、出来るだけ (誰もが理解できる)

■ ⇒ プログラマーが覚えなければならない構文規則が他の言語と比べて少ない

■ ⇒ に優しい

シンプルな構文

■ Python の哲学

- 複雑であるよりも **シンプル** な方がよい

- 何かをする方法は、出来るだけ (誰もが理解できる)

- ⇒ プログラマーが覚えなければならない構文規則が他の言語と比べて少ない

- ⇒ に優しい

シンプルな構文

■ Python の哲学

- 複雑であるよりも **シンプル** な方がよい

- 何かをする方法は、出来るだけ **1つだけ** (誰もが理解できる)

- ⇒ プログラマーが覚えなければならない構文規則が他の言語と比べて少ない

- ⇒ に優しい

シンプルな構文

■ Python の哲学

- 複雑であるよりも **シンプル** な方がよい
- 何かをする方法は、出来るだけ **1つだけ** (誰もが理解できる)
- ⇒ プログラマーが覚えなければならない構文規則が他の言語と比べて少ない
- ⇒ **初心者** に優しい

記述性の高さ

- 1 行で を記述できる
 - 前頁の と背反するようだがそうではなく、単純なパーツを組みあわせることが出来る、ということ
- ⇒ 何かの処理を行うために書かなければならないコードが少なくて済む（= だということ）

記述性の高さ

- 1行で **多くの処理** を記述できる

- 前頁の と背反するようだがそうではなく、単純なパーツを組みあわせることが出来る、ということ

- ⇒ 何かの処理を行うために書かなければならないコードが少なくて済む (= だということ)

記述性の高さ

- 1行で **多くの処理** を記述できる
 - 前頁の **シンプルさ** と背反するようだがそうではなく、単純なパーツを組みあわせることが出来る、ということ
- ⇒ 何かの処理を行うために書かなければならないコードが少なくて済む (= だということ)

記述性の高さ

- 1行で **多くの処理** を記述できる
 - 前頁の **シンプルさ** と背反するようだがそうではなく、単純なパーツを組みあわせることが出来る、ということ
- ⇒ 何かの処理を行うために書かなければならないコードが少なくて済む (= **シンプル** だということ)

1行で多くの処理を記述できる例

☆例：2重ループによる九九の表…

- 次頁のコードを[Google Colab](#)で新しいノートブックとして動かして result の値を確認してみてください
- Google アカウントでログインしていない場合は、ログインしてください
- copy&paste しても良いですが、インデントが無くなったり、' (quote) が変になったりするので、変なところは手で打ち直してください

1行で多くの処理を記述できる例

```
result = []
for num1 in range(1, 10):
    tmp = []
    for num2 in range(1, 10):
        tmp.append(f'{num1 * num2:2}')
        # f'...' は書式付きの文字列
    result.append(tmp)
for row in result:
    print(', '.join(row))
```

1行で多くの処理を記述できる例

☆前頁のループは、以下のようにも書ける（本当は1行）

```
result = [[f'{num1 * num2:2}'  
           for num2 in range(1, 10)]  
           for num1 in range(1, 10)]
```

1行で多くの処理を記述できる例

☆ python 独特の

[式 for 変数 in イテラブルオブジェクト]

- range オブジェクト等のイテラブル（=繰り返しの）オブジェクトから順に要素を取り出し

- そしてその変数を使った式の値をリストの

- 式には変数の値に対する も記述できる

1行で多くの処理を記述できる例

☆ python 独特の 「リスト内包表記」

[式 for 変数 in イテラブルオブジェクト]

- range オブジェクト等のイテラブル（＝繰り返しの）オブジェクトから順に要素を取り出し

- そしてその変数を使った式の値をリストの

- 式には変数の値に対する も記述できる

1行で多くの処理を記述できる例

☆ python 独特の 「リスト内包表記」

[式 for 変数 in イテラブルオブジェクト]

- range オブジェクト等のイテラブル（＝繰り返しの）オブジェクトから順に要素を取り出し

変数に代入

- そしてその変数を使った式の値をリストの

- 式には変数の値に対する も記述できる

1行で多くの処理を記述できる例

☆ python 独特の 「リスト内包表記」

[式 for 変数 in イテラブルオブジェクト]

- range オブジェクト等のイテラブル（＝繰り返しの）オブジェクトから順に要素を取り出し

変数に代入

- そしてその変数を使った式の値をリストの

要素として追加

- 式には変数の値に対する も記述できる

1行で多くの処理を記述できる例

☆ python 独特の 「リスト内包表記」

[式 for 変数 in イテラブルオブジェクト]

- range オブジェクト等のイテラブル（＝繰り返しの）オブジェクトから順に要素を取り出し

変数に代入

- そしてその変数を使った式の値をリストの

要素として追加

- 式には変数の値に対する 演算 も記述できる

リスト内包表記の例

```
res = [x**2 for x in range(10)]  
print(res) # 0-9 の二乗を出力
```

標準ライブラリ

- 数学関連
- ファイル操作およびさまざまなフォーマットのファイルの操作
- GUI（グラフィカルユーザーインタフェース）
- ネットワーク処理
- 並列処理
- …など、など

外部ライブラリ

☆ AI 技術（機械学習）関連だと…

- (AI というより数値計算用)
-
-
- , (Google 謹製で、最近セットで使うことが多い)
- …など、など（どんどん増えている）

外部ライブラリ

☆ AI 技術（機械学習）関連だと…

- NumPy (AI というより数値計算用)
-
-
- , (Google 謹製で、最近セットで使うことが多い)
- …など、など（どんどん増えている）

外部ライブラリ

☆ AI 技術（機械学習）関連だと…

- NumPy (AI というより数値計算用)
- scikit-learn
-
- , (Google 謹製で、最近セットで使うことが多い)
- …など、など（どんどん増えている）

外部ライブラリ

☆ AI 技術（機械学習）関連だと…

- NumPy (AI というより数値計算用)
- scikit-learn
- Chainer
- , (Google 謹製で、最近セットで使うことが多い)
- …など、など（どんどん増えている）

外部ライブラリ

☆ AI 技術（機械学習）関連だと…

- NumPy (AI というより数値計算用)
- scikit-learn
- Chainer
- TensorFlow, (Google 謹製で、最近セットで使うことが多い)
- …など、など（どんどん増えている）

外部ライブラリ

☆ AI 技術（機械学習）関連だと…

- NumPy (AI というより数値計算用)
- scikit-learn
- Chainer
- TensorFlow, keras (Google 謹製で、最近セットで使うことが多い)
- …など、など（どんどん増えている）

NumPy の例：行列の積

```
import numpy as np # ... 後述
arr1 = np.arange(4).reshape((2, 2))
print(arr1)
# [[0 1]  [2 3]] ..2x2 の行列
arr2 = np.arange(6).reshape((2, 3))
print(arr2)
# [[0 1 2]  [3 4 5]] ..2x3 の行列
print(arr1.dot(arr2))
# [[ 3  4  5]  [ 9 14 19]]
# ..dot メソッドでかけ算が出来る
```

NumPy の例：行列の積

☆前頁の計算は以下の行列積を求めていた

$$\begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 2 & 3 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 0 & 1 & 2 \\ 3 & 4 & 5 \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} 0 \cdot 0 + 1 \cdot 3 & 0 \cdot 1 + 1 \cdot 4 & 0 \cdot 2 + 1 \cdot 5 \\ 2 \cdot 0 + 3 \cdot 3 & 2 \cdot 1 + 3 \cdot 4 & 2 \cdot 2 + 3 \cdot 5 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 3 & 4 & 5 \\ 9 & 14 & 19 \end{pmatrix}$$

ほかの外部ライブラリの例

☆ QR コード作成 (user: semi, pass: hannannipamo)

以下は抜粋 (`qrcode` を import している)

```
import cgi, os, sys, io, qrcode
sys.stderr = io.TextIOWrapper(
    sys.stderr.buffer, encoding='utf-8')
sys.stdout = io.TextIOWrapper(
    sys.stdout.buffer, encoding='utf-8')
def qrmk(s,fn):
    img = qrcode.make(s)
    img.save(fn)
```

前田（個人）的お気に入りな点

- ブロックは {}（中括弧）ではなく

で示す

- ちゃんとインデントしないと動かない＝

ことを強制される

- 初心者は「とりあえず動けばよい」としがちだが、それを許さず最初から 書かないといけない

前田（個人） 的お気に入りな点

- ブロックは {}（中括弧）ではなく
インデントで示す
 - ちゃんとインデントしないと動かない＝
 ことを強制される
 - 初心者は「とりあえず動けばよい」としがちだが、それを許さず最初から 書かないといけない

前田（個人）的お気に入りな点

- ブロックは {}（中括弧）ではなく
インデントで示す
 - ちゃんとインデントしないと動かない=
綺麗に書くことを強制される
 - 初心者は「とりあえず動けばよい」としがちだが、それを許さず最初から 書かないといけない

前田（個人） 的お気に入りな点

- ブロックは {}（中括弧）ではなく
インデントで示す
 - ちゃんとインデントしないと動かない=
綺麗に書くことを強制される
 - 初心者は「とりあえず動けばよい」としがちだが、それを許さず最初から **綺麗に**書かないといけない

前田（個人）的お気に入りな点（続き）

- 前に関連して、括弧が なので読みやすい
 - C/C++/Java/... だと `{}` の対応が必須なのでブロックが深くなると非常に読み辛いし、抜けがち→バグにつながる
- `import` の `as` で名前を できる（これは些細、でも Java のクラスライブラリの長い綴りは閉口）

前田（個人）的お気に入りな点（続き）

- 前に関連して、括弧が **必要最小限** なので読みやすい
 - C/C++/Java/... だと `{}` の対応が必須なのでブロックが深くなると非常に読み辛いし、抜けがち→バグにつながる
- `import` の `as` で名前を できる（これは些細、でも Java のクラスライブラリの長い綴りは閉口）

前田（個人）的お気に入りな点（続き）

- 前に関連して、括弧が **必要最小限** なので読みやすい
 - C/C++/Java/... だと `{}` の対応が必須なのでブロックが深くなると非常に読み辛いし、抜けがち→バグにつながる
- `import` の `as` で名前を **短縮** できる（これは些細、でも Java のクラスライブラリの長い綴りは閉口）

C と python

☆ 3重ループだと…C/C++ なら

```
for (i=0;i<10;i++) {  
  for (j=0;j<10;j++) {  
    for (k=0;k<10;k++) {  
      sum = i*100+j*10+k;  } } }
```

が、python だと

```
for i in range(10):  
    for j in range(10):  
        for k in range(10):  
            sum = i*100+j*10+k
```

となる

前田のお気に入っていない点

- def, if, while, などの行の最後に が必要 ← 無くても構文解析的には問題なさげ
- ← elseif でいいんじゃない？
- ... (あとは思いつかないくらい、現状に満足)

前田のお気に入っていない点

- def, if, while, などの行の最後に **: (colon)** が必要 ← 無くても構文解析的には問題なさげ
- ← elseif でいいんじゃない？
- ... (あとは思いつかないくらい、現状に満足)

前田のお気に入っていない点

- def, if, while, などの行の最後に **:** (colon) が必要 ← 無くても構文解析的には問題なさげ
- **elif** ← elseif でいいんじゃない？
- ... (あとは思いつかないくらい、現状に満足)

前田（個人）的言語勉強法

- 1 まずは入門書（Webも可）をざっと読む
- 2 サンプルプログラム（コード）をとにかく動かす
- 3 サンプルプログラムをひたすら（？ある程度の量を）
 - 読むことで、目が馴染む
 - 理解できないところは調べる。最近は大抵のことは検索すると出てくるので便利
 - → を高める

前田（個人）的言語勉強法

- 1 まずは入門書（Webも可）をざっと読む
- 2 サンプルプログラム（コード）をとにかく動かす
- 3 サンプルプログラムをひたすら（？ある程度の量を）**読む**
 - 読むことで、目が馴染む
 - 理解できないところは調べる。最近は大抵のことは検索すると出てくるので便利
 - → を高める

前田（個人）的言語勉強法

- 1 まずは入門書（Webも可）をざっと読む
- 2 サンプルプログラム（コード）をとにかく動かす
- 3 サンプルプログラムをひたすら（？ある程度の量を）**読む**
 - 読むことで、目が馴染む
 - 理解できないところは調べる。最近は大抵のことは検索すると出てくるので便利
 - → **経験値**を高める

前田（個人）的言語勉強法（続き）

4 サンプルプログラムを少しだけ
て拳動の違いを見る

■ 感じることで、体に

5 … 2 以下を、繰り返す

前田（個人）的言語勉強法（続き）

- 4 サンプルプログラムを少しだけ
書きかえて挙動の違いを見る

- 感じることで、体に

- 5 … 2 以下を、繰り返す

前田（個人）的言語勉強法（続き）

- 4 サンプルプログラムを少しだけ
書きかえて拳動の違いを見る
(感じる)

■ 感じることで、体に

- 5 … 2 以下を、繰り返す

前田（個人）的言語勉強法（続き）

- 4 サンプルプログラムを少しだけ
書きかえて拳動の違いを見る
(感じる)
 - 感じることで、体に 馴染む
- 5 … 2 以下を、繰り返す

前田（個人）的コードの読みかた

- 1 できるだけプログラマの を読みとく
- 2 1行ごとに、
- 3 その上で、コードの のパターンを読みとく

前田（個人）的コードの読みかた

- 1 できるだけプログラムの **意図** を読みとく
- 2 1行ごとに、
- 3 その上で、コードの のパターンを読みとく

前田（個人）的コードの読みかた

- 1 できるだけプログラムの **意図** を読みとく
- 2 1行ごとに、**意味がある（はず）**
- 3 その上で、コードの  のパターンを読みとく

前田（個人）的コードの読みかた

- 1 できるだけプログラムの **意図** を読みとく
- 2 1行ごとに、**意味がある（はず）**
- 3 その上で、コードの **塊** のパターンを読みとく

前田（個人）的コードの読みかた（続き）

- 4 ある目的にはこのパターン、のような
を見付ける（アル
ゴリズムの教科書も適宜参照すべき）
- 5 先人の知恵に学ぶ 気持ちが必要
（誇張あり）

☆これらが体感でき を積んで
いけば、読むのも書くのもワンランク
上のレベルになる

前田（個人）的コードの読みかた（続き）

- 4 ある目的にはこのパターン、のような
イディオム（慣用句）を見付ける（アル
ゴリズムの教科書も適宜参照すべき）
- 5 先人の知恵に学ぶ 気持ちが必要
（誇張あり）

☆これらが体感でき を積んで
いけば、読むのも書くのもワンランク
上のレベルになる

前田（個人）的コードの読みかた（続き）

- 4 ある目的にはこのパターン、のような **イディオム（慣用句）** を見付ける（アルゴリズムの教科書も適宜参照すべき）
- 5 先人の知恵に学ぶ **謙虚な** 気持ちが必要（誇張あり）

☆これらが体感でき を積んで
いけば、読むのも書くのもワンランク
上のレベルになる

前田（個人）的コードの読みかた（続き）

- 4 ある目的にはこのパターン、のような **イディオム（慣用句）** を見付ける（アルゴリズムの教科書も適宜参照すべき）
- 5 先人の知恵に学ぶ **謙虚な** 気持ちが必要（誇張あり）

☆これらが体感でき **経験値** を積んで
いけば、読むのも書くのもワンランク
上のレベルになる

プログラミング学習の心構え

- そもそもプログラミングを学習するのは何のため？
 - プログラミング を身につけるため
 - さらに言うと、プログラミング のベースとなる を鍛えるため
- プログラムは書いたようにしか動かない（！）
 - 思うように動かすためには、
 ないといけない
 - そのためには、 で記述する力が必要

プログラミング学習の心構え

■ そもそもプログラミングを学習するのは何のため？

- プログラミング **感覚** を身につけるため
- さらに言うと、プログラミング のベースとなる を鍛えるため

■ プログラムは書いたようにしか動かない（！）

- 思うように動かすためには、
 ないといけない
- そのためには、 で記述する力が必要

プログラミング学習の心構え

- そもそもプログラミングを学習するのは何のため？
 - プログラミング **感覚** を身につけるため
 - さらに言うと、プログラミング **感覚** のベースとなる を鍛えるため
- プログラムは書いたようにしか動かない（！）
 - 思うように動かすためには、
 ないといけない
 - そのためには、 で記述する力が必要

プログラミング学習の心構え

- そもそもプログラミングを学習するのは何のため？
 - プログラミング **感覚** を身につけるため
 - さらに言うと、プログラミング **感覚** のベースとなる **論理的思考力** を鍛えるため
- プログラムは書いたようにしか動かない（！）
 - 思うように動かすためには、ないといけない
 - そのためには、で記述する力が必要

プログラミング学習の心構え

- そもそもプログラミングを学習するのは何のため？
 - プログラミング **感覚** を身につけるため
 - さらに言うと、プログラミング **感覚** のベースとなる **論理的思考力** を鍛えるため
- プログラムは書いたようにしか動かない（！）
 - 思うように動かすためには、**動くように書か**ないといけない
 - そのためには、で記述する力が必要

プログラミング学習の心構え

- そもそもプログラミングを学習するのは何のため？
 - プログラミング **感覚** を身につけるため
 - さらに言うと、プログラミング **感覚** のベースとなる **論理的思考力** を鍛えるため
- プログラムは書いたようにしか動かない（！）
 - 思うように動かすためには、**動くように書か**ないといけない
 - そのためには、**理詰め**で記述する力が必要

プログラミング学習の心構え（躓きの要因）

- 専門用語でつまづく…概念知識の理解は必要だが、それよりも ことが大事（！）
- エラーが出て心が折れる…
 - コードの抜け漏れや書き損じがあってエラーを出してしまう→嫌気がさしたり、向いていないのではないかと自信をなくしてしまう
 - エラーは出たら だけ。むしろエラーをたくさん出して、失敗の原因を することが成長につながる。
- 心理的なハードルを下げる工夫が必要（?!）

プログラミング学習の心構え（躓きの要因）

- 専門用語でつまづく…概念知識の理解は必要だが、それよりも**動かす**ことが大事（！）
- エラーが出て心が折れる…
 - コードの抜け漏れや書き損じがあってエラーを出してしまう→嫌気がさしたり、向いていないのではないかと自信をなくしてしまう
 - エラーは出たら だけ。むしろエラーをたくさん出して、失敗の原因を することが成長につながる。
- 心理的なハードルを下げる工夫が必要（?!）

プログラミング学習の心構え（躓きの要因）

- 専門用語でつまづく…概念知識の理解は必要だが、それよりも **動かす** ことが大事（！）
- エラーが出て心が折れる…
 - コードの抜け漏れや書き損じがあってエラーを出してしまう→嫌気がさしたり、向いていないのではないかと自信をなくしてしまう
 - エラーは出たら **直せばいい** だけ。むしろエラーをたくさん出して、失敗の原因を することが成長につながる。
- 心理的なハードルを下げる工夫が必要（?!）

プログラミング学習の心構え（躓きの要因）

- 専門用語でつまづく…概念知識の理解は必要だが、それよりも **動かす** ことが大事（！）
- エラーが出て心が折れる…
 - コードの抜け漏れや書き損じがあってエラーを出してしまう→嫌気がさしたり、向いていないのではないかと自信をなくしてしまう
 - エラーは出たら **直せばいい** だけ。むしろエラーをたくさん出して、失敗の原因を **蓄積** することが成長につながる。
- 心理的なハードルを下げる工夫が必要（?!）

おしまい

質問・コメント等あれば、何でもお気軽に
aipr@e-chan.jp に
メールください！